



祝 コミセンだより 50号!



初めてのコミセンまつり
31号 平成30年1月

ハロウィン★パーティ
6号 平成27年12月

創刊号 平成27年7月

千里山駅前交通広場まちびらき
16号 平成28年10月

平成27年7月1日に千里山コミセンだよりの創刊号を発行して4年。今回は記念すべき50号です。公団住宅の建て替え、駅前ロータリーの整備、跨線橋ができ、千里山交番の駅東側への引越し、このまちと共に歩んだ50号です。このコミセンだよりも新しい千里山の歴史そのものです。これからも地域の皆さまに支えられて、千里山らしく号を重ねて行きたいと思っております。

コミセンだよりをどうぞよろしくお願いたします。

広報委員会でコミセンだよりを作っています。

創刊号～49号までを並べてみました。

ほっと一息
千里山の夏の思い出
戦後しばらくして夏の千里山では、第一噴水を櫓で囲んで盆踊りが始まりました(昭和25年頃)。その後、駅前広場(中央市場を経て現在のアルス千里山西)に移り、やがて千里寺境内で開かれるようになりました。

炭坑節、江州音頭に加え千里山音頭、オバQ音頭が踊られました。そして仮装、のど自慢などもあり、昭和50年代には夜店が盛んになって子ども達がお年玉を貯めたお小遣いを手に集まり、多くの人々で賑わうようになりました。

また、駅前広場では夏休みの子ども達のための野外映画があったのを覚えています。

毎年夏になると当時の賑わいが懐かしく思い出されます。
文(〇)

コミカフェコンサート報告

モアナブリーズ
6月30日(日)



ハワイアン音楽とフラダンスのコンサート。「月の夜は」の振付と動作の意味を習い、みんなで踊りました。「少年時代」「涙そうそう」などが演奏され、ハワイの風景のタペストリーがとても素敵でした。

グルーポ福袋
7月7日(日)



「コンドルは飛んでいく」「花まつり」等6曲に50名程の観客が聴き入りました。途中南米の楽器の紹介がありアンデスの風と土の香りのする豊かな時間が過ぎていきました。

トリオ エスペランサ
7月14日(日)



「カーペンターズ」のナンバーを中心にお馴染みのボサノヴァやポップスを演奏されました。

コミカフェコンサート 予告
(正午～)
ラス・エストレリータス 9月1日(日)
パラグアイ・ハーブ コンサート

使用料金表				
お部屋	定員	午前	午後	夜間
		9時～正午	1時～5時	6時～10時
会議室 (1, 2, 3)	各 18人	1,200円	1,600円	1,600円
料理実習室	12人	1,700円	2,300円	2,300円
和室	28人	1,600円	2,200円	2,200円
創作室	18人	1,600円	2,200円	2,200円
多目的ホール	180人	6,200円	8,300円	8,300円

お部屋のご予約は直接センターへお越しください。



編集後記～コミュちゃんのつぶやき～
「ほっと一息」で千里寺の夏祭りが取り上げられました。子どもの頃、近所の友達と金魚すくいをしたり夜店を回ったり、盆踊りをしたりと、懐かしい夏の風景がよみがえりました。今年こそは…浴衣を着て日本の夏を味わいたいと思います。(黒)

千里山コミセンだよりの写真は、ご本人、団体の許可をいただいて掲載しています。
◎8月の休館日◎ 8月28日(水)・29日(木)

